

漁業センサスからみる九州の漁業 (海面漁業)

九州農政局統計部

この資料は、九州の海面漁業（海面養殖業も含む）の生産構造、就業構造について、漁業センサスの結果を用いて図表化し、解説したものです。

令和 2 年 1 0 月

農林水産省

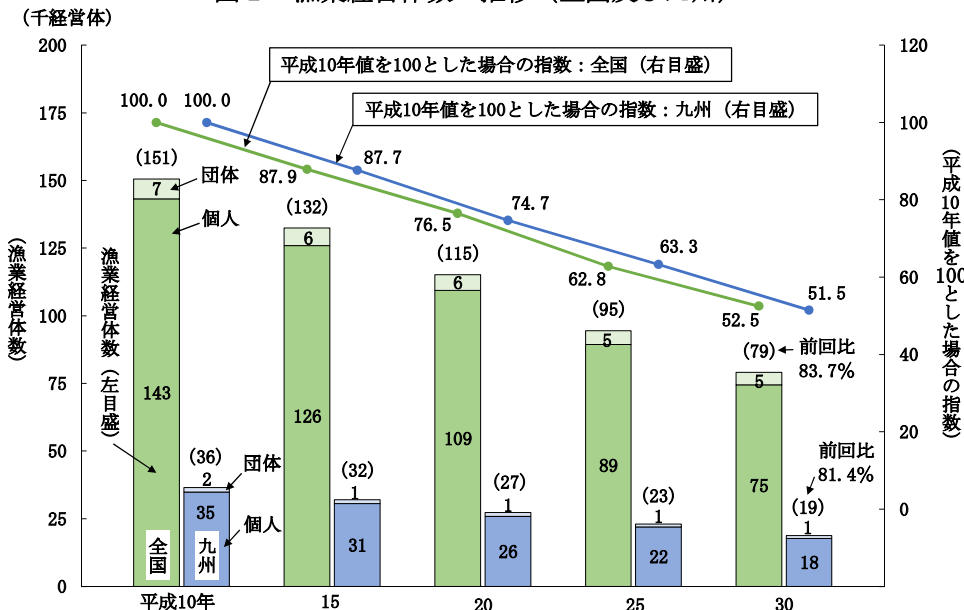
I 漁業経営体

1 漁業経営体数の推移（全国及び九州）

◎ 九州の漁業経営体数は1万9千経営体、全国の24%を占めている

- 九州の漁業経営体は個人経営体17,779、団体経営体1,022の計18,801経営体で、前回調査の5年前に比べて18.6%減少した。経営体数の全国シェアは24%となっている。なお、平成10年と比較すると経営体数は約半減している。〔図1、図2〕
- 個人・団体別では「個人経営体」が95%を占めている。漁業層別では「沿岸漁業層」が95%を占め、そのうち、「海面養殖層」は16%（個人経営体では14%）と、全国に比べると2～3ポイント低くなっている。〔図3、図4、図5〕

図1 漁業経営体数の推移（全国及び九州）



注：1 表示単位未満を四捨五入したため、合計値と内訳が一致しない場合があります。（以下同じ。）
 2 九州値は、九州7県の数値を合計したものです。（以下同じ。）
 3 () は個人経営体と団体経営体の合計数です。

図2 漁業経営体数（全国）（平成30年）

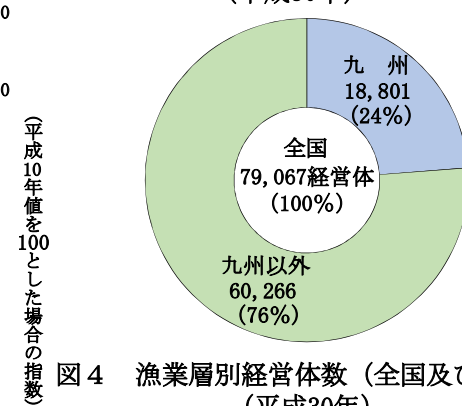


図3 個人・団体別経営体数（全国及び九州）（平成30年）

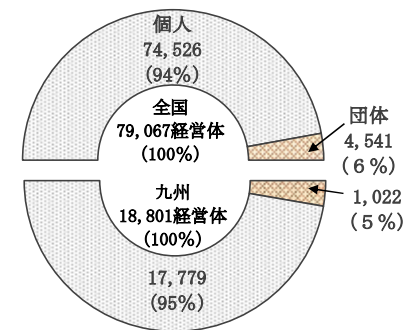


図4 漁業層別経営体数（全国及び九州）（平成30年）

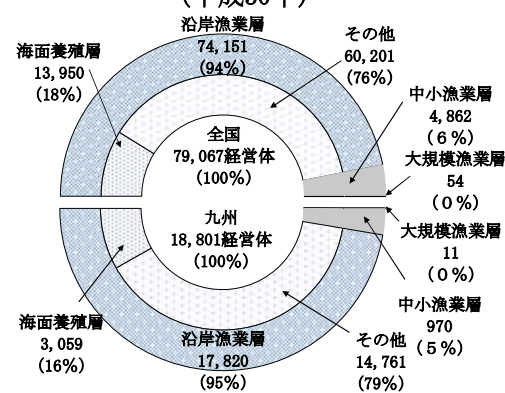
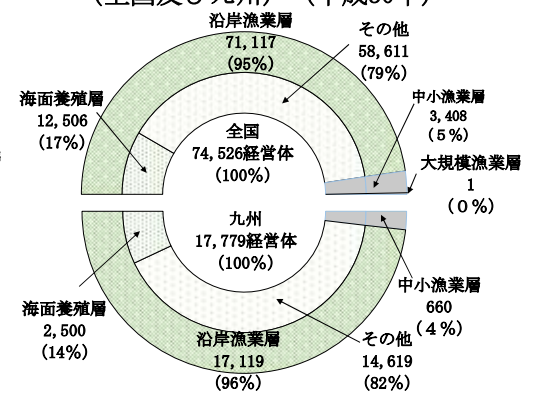


図5 個人経営体の漁業層別経営体数（全国及び九州）（平成30年）



◆ 漁業経営体とは、過去1年間に利潤又は生活の資を得るために、生産物を販売することを目的として、海面において水産動植物の採捕又は養殖の事業を行った世帯又は事業所をいいます。

ただし、過去1年間における漁業の海上作業日数が30日未満の個人経営体は除きます。

◆ 個人経営体とは、漁業経営体のうち個人で漁業を営んだものをいいます。

◆ 団体経営体とは、個人経営体以外の経営体をいいます。

◆ 大規模漁業層とは、動力漁船1,000 t以上の階層を総称したものをいいます。

◆ 中小漁業層とは、動力漁船10 t以上1,000 t未満の階層を総称したものをいいます。

◆ 沿岸漁業層とは、漁船非使用、無動力船、船外機付漁船、動力漁船10 t未満、定置網、地びき網及び海面養殖の各階層を総称したものをいいます。

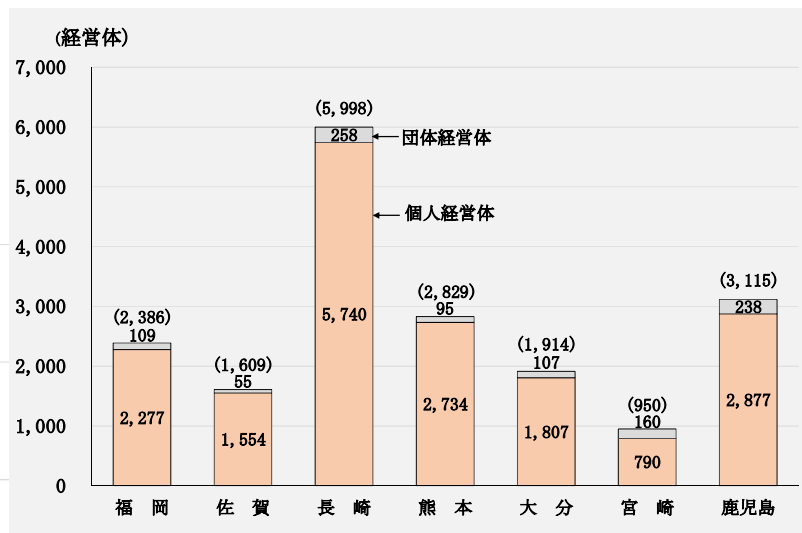
I 漁業経営体

2 漁業経営体数の推移（九州各県）

◎ 長崎県の経営体数は5,998で北海道に次ぎ全国2位、鹿児島県、熊本県も全国上位

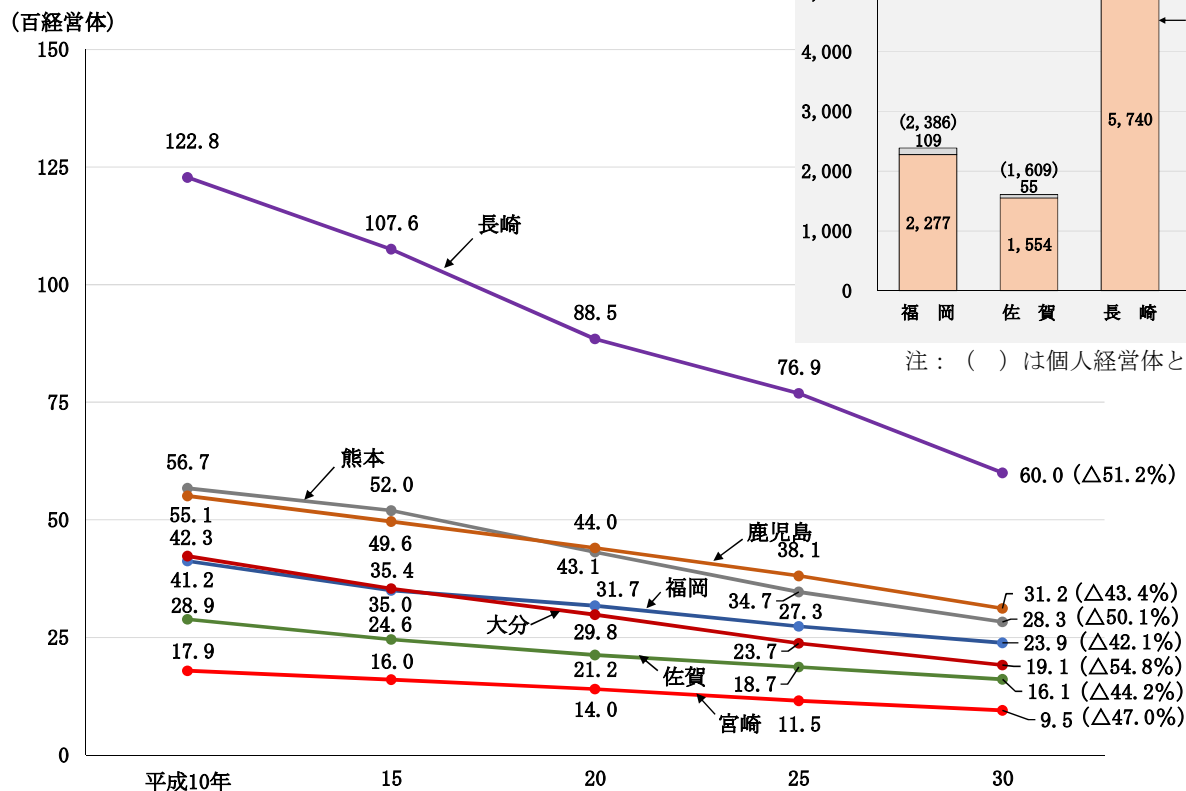
■ 九州各県の漁業経営体は長崎5,998（全国2位）、鹿児島3,115（同7位）、熊本2,829（同9位）、福岡2,386（同12位）、大分1,914（同17位）、佐賀1,609（同19位）、宮崎950（同28位）となり、平成10年に比べると各県ともに4～5割減少しているものの長崎、鹿児島、熊本は全国で上位に位置している。〔図6、図7、表1〕

図6 漁業経営体数（九州各県）（平成30年）



注：（ ）は個人経営体と団体経営体の合計数です。

図7 漁業経営体数の推移（九州各県）



注：（ ）は平成10年から30年の増減率です。

表1 漁業経営体数の全国順位（平成30年）

| 順位 | 都道府県名 | 漁業経営体数 |
|----|-------|--------|
| 1 | 北海道 | 11,089 |
| 2 | 長崎 | 5,998 |
| 3 | 青森 | 3,702 |
| 4 | 愛媛 | 3,444 |
| 5 | 岩手 | 3,406 |
| 6 | 三重 | 3,178 |
| 7 | 鹿児島 | 3,115 |
| 8 | 山口 | 2,858 |
| 9 | 熊本 | 2,829 |
| 10 | 沖縄 | 2,733 |
| 12 | 福岡 | 2,386 |
| 17 | 大分 | 1,914 |
| 19 | 佐賀 | 1,609 |
| 28 | 宮崎 | 950 |

I 漁業経営体

3 営んだ漁業種類別経営体の割合（全国及び九州）

◎ 九州では釣を営んだ漁業経営体が61%、次いで刺網が24%となっている

- 営んだ漁業種類別経営体の割合は、九州では「釣」を営む経営体が61%で、全国と比較すると18ポイント高くなっている。〔図8〕
- 「まき網」を営んだ経営体は全国の37%を占め、「釣」、「はえ縄」は全国の34%を占めている。〔表3〕

図8 営んだ漁業種類別経営体割合（複数回答）
（全国及び九州）（平成30年）

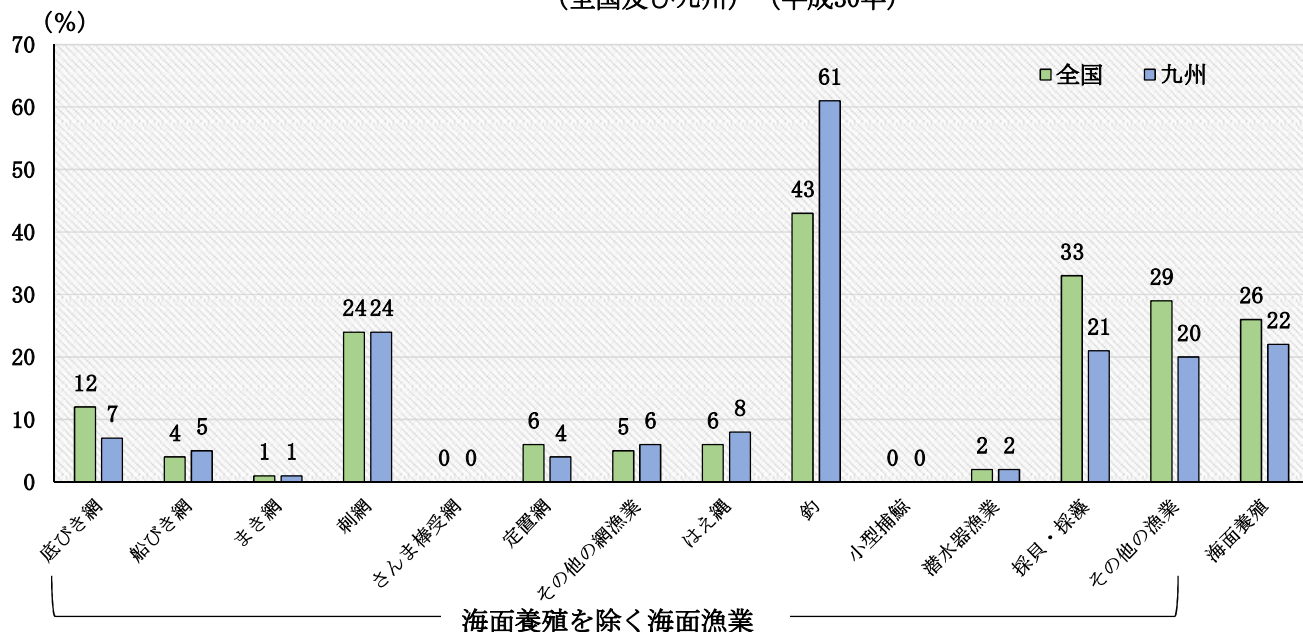


表3 営んだ漁業種類別で全国の2割以上を占める漁業種類（平成30年）

| 区分 | 全国 (経営体) | 九州 (経営体) | 占有率 (%) |
|---------|-------------|-------------|------------|
| 船びき網 | 3,145 | 894 | 28 |
| まき網 | 469 | 172 | 37 |
| 刺網 | 19,099 | 4,423 | 23 |
| その他の網漁業 | 3,784 | 1,046 | 28 |
| はえ縄 | 4,415 | 1,482 | 34 |
| 釣 | 33,771 | 11,548 | 34 |
| 潜水器漁業 | 1,595 | 373 | 23 |
| 海面養殖 | 20,322 | 4,183 | 21 |
| 全経営体数 | 79,067 | 18,801 | 24 |

表2 営んだ漁業種類別経営体数及び割合（複数回答）
（全国及び九州）（平成30年）

| 区分 | 実経営体数 | 海面養殖を除く海面漁業 | | | | | | | | | | | | | | 海面養殖 |
|------|--------|-------------|-------|-----|--------|--------|-------|---------|-------|--------|------|-------|--------|--------|--------|------|
| | | 船びき網 | 船びき網 | まき網 | 刺網 | さんま棒受網 | 定置網 | その他の網漁業 | はえ縄 | 釣 | 小型捕鯨 | 潜水器漁業 | 採貝・採藻 | その他の漁業 | | |
| 全国 | 79,067 | 9,127 | 3,145 | 469 | 19,099 | 135 | 5,100 | 3,784 | 4,415 | 33,771 | 3 | 1,595 | 26,097 | 22,568 | 20,322 | |
| (割合) | | 12% | 4% | 1% | 24% | 0% | 6% | 5% | 6% | 43% | 0% | 2% | 33% | 29% | 26% | |
| 九州 | 18,801 | 1,398 | 894 | 172 | 4,423 | 1 | 796 | 1,046 | 1,482 | 11,548 | - | 373 | 3,862 | 3,690 | 4,183 | |
| (割合) | | 7% | 5% | 1% | 24% | 0% | 4% | 6% | 8% | 61% | - | 2% | 21% | 20% | 22% | |

単位：経営体

注：複数回答のため、経営体数の合計は実経営体数に、また、割合の合計は100%になりません。

I 漁業経営体

4 営んだ漁業種類別経営体数（海面漁業）（九州各県）

- 営んだ漁業種類別経営体は全県で「釣」が最も多く、次いで福岡、長崎、熊本、大分が「採貝・採藻」、佐賀、宮崎、鹿児島が「刺網」となっている。〔図9〕
- 営んだ漁業種類別経営体の全国順位をみると、長崎は「まき網」、「はえ縄」、「釣」をはじめ、多くの漁業種類で上位となっている。〔表4〕

図9 営んだ漁業種類別経営体数（海面漁業）（九州各県）（平成30年）

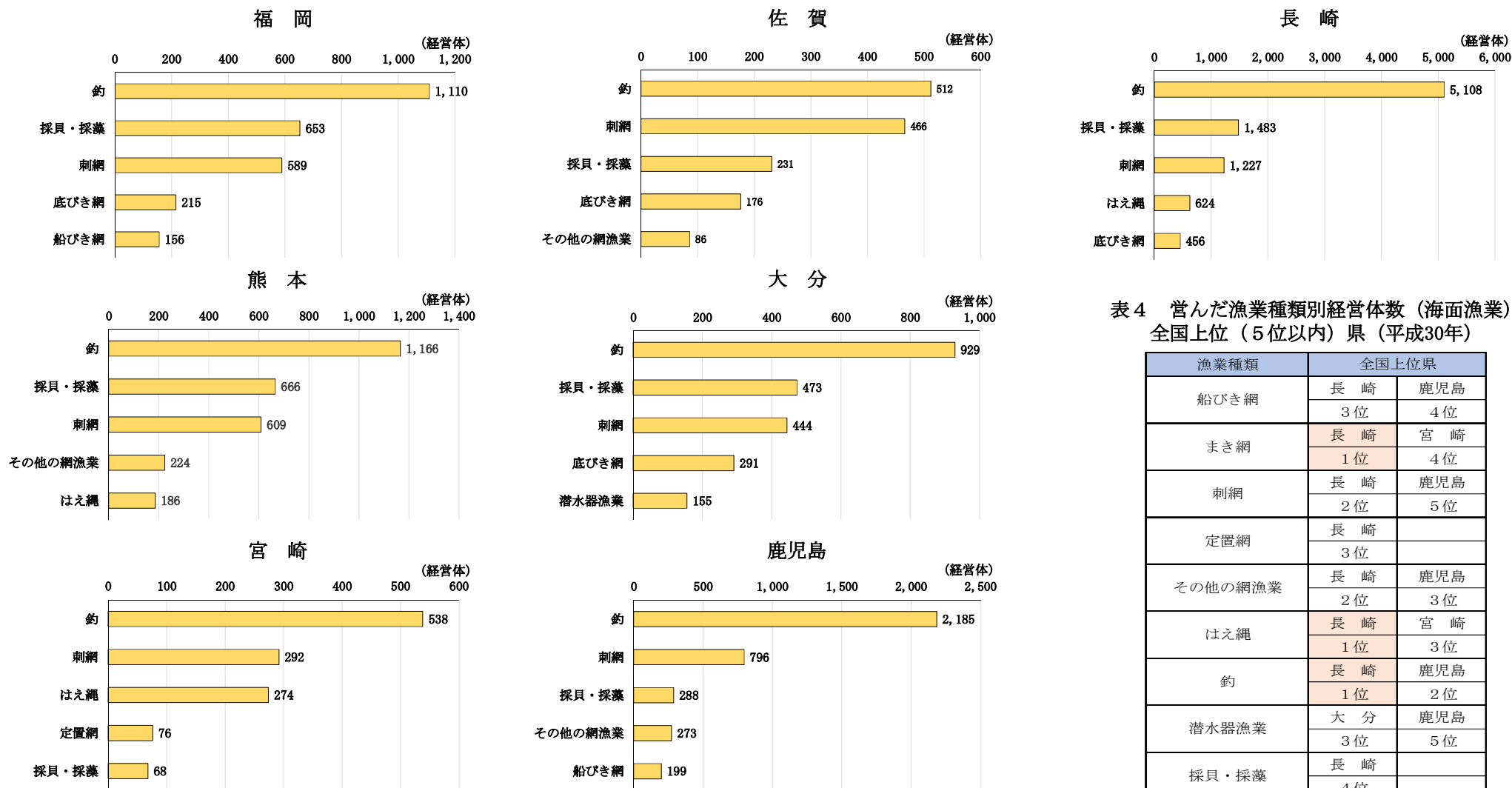


表4 営んだ漁業種類別経営体数（海面漁業）
全国上位（5位以内）県（平成30年）

| 漁業種類 | 全国上位県 | |
|---------|-------|-----|
| | 順位 | 県名 |
| 船びき網 | 長崎 | 鹿児島 |
| | 3位 | 4位 |
| まき網 | 長崎 | 宮崎 |
| | 1位 | 4位 |
| 刺網 | 長崎 | 鹿児島 |
| | 2位 | 5位 |
| 定置網 | 長崎 | |
| | 3位 | |
| その他の網漁業 | 長崎 | 鹿児島 |
| | 2位 | 3位 |
| はえ縄 | 長崎 | 宮崎 |
| | 1位 | 3位 |
| 釣 | 長崎 | 鹿児島 |
| | 1位 | 2位 |
| 潜水器漁業 | 大分 | 鹿児島 |
| | 3位 | 5位 |
| 採貝・採藻 | 長崎 | |
| | 4位 | |

I 漁業経営体

5 営んだ漁業種類別経営体数（海面養殖）（九州各県）

- 海面養殖を営んだ経営体を養殖種類別にみると、福岡、佐賀、熊本で「のり類養殖」が大宗を占めており、大分、宮崎、鹿児島では「ぶり類養殖」が、長崎では「かき類養殖」が多くなっている。〔図10〕
- 営んだ漁業種類別経営体の全国順位をみると、多くの養殖種類で全国1位となっている。〔表5〕

図10 営んだ漁業種類別経営体数（海面養殖）（九州各県）（平成30年）

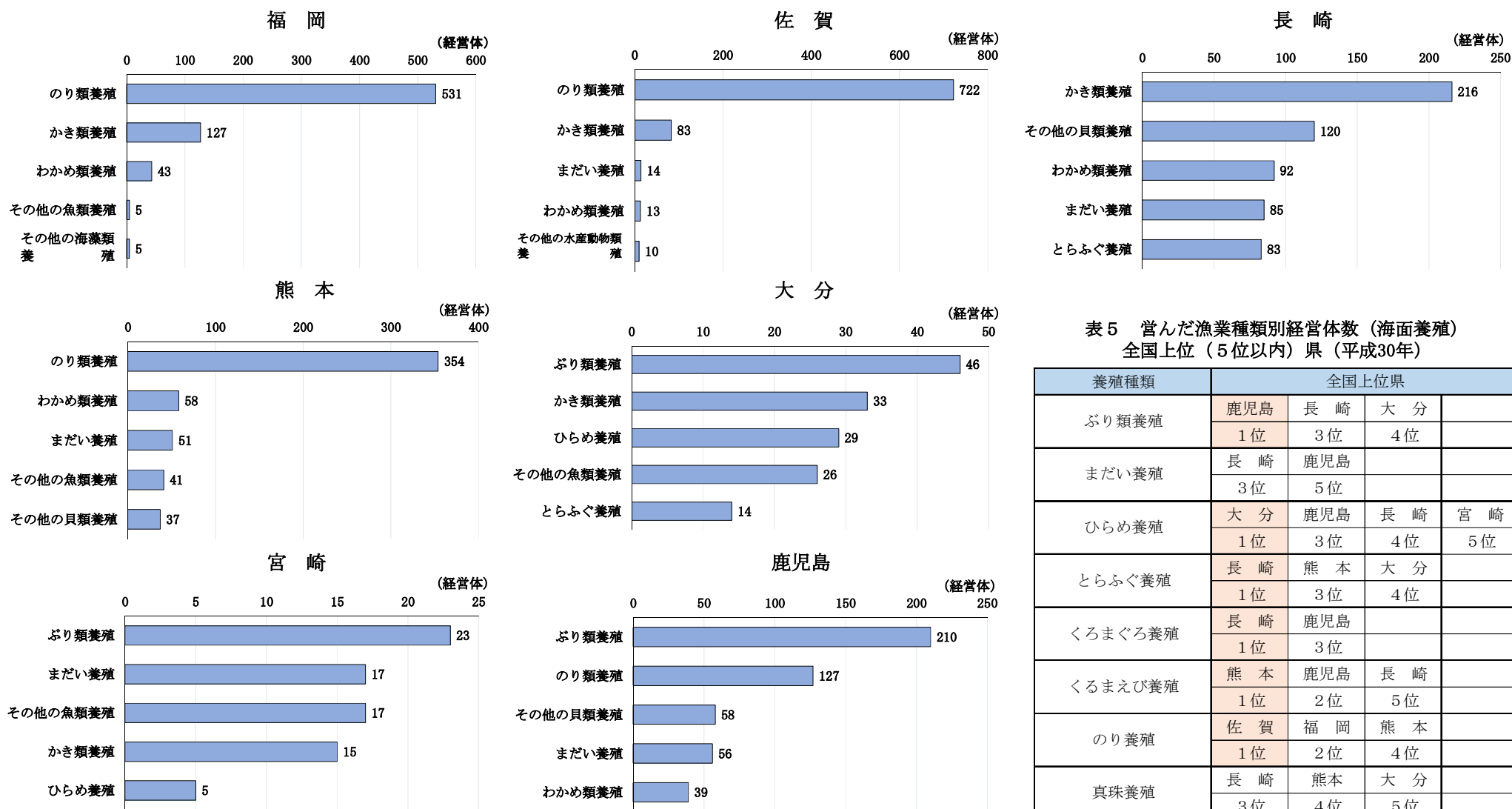


表5 営んだ漁業種類別経営体数（海面養殖）
全国上位（5位以内）県（平成30年）

| 養殖種類 | 全国上位県 | | | |
|---------|-------|-----|----|----|
| | 鹿児島 | 長崎 | 大分 | 宮崎 |
| ぶり類養殖 | 1位 | 3位 | 4位 | |
| まだい養殖 | 長崎 | 鹿児島 | | |
| | 3位 | 5位 | | |
| ひらめ養殖 | 大分 | 鹿児島 | 長崎 | 宮崎 |
| | 1位 | 3位 | 4位 | 5位 |
| とらふぐ養殖 | 長崎 | 熊本 | 大分 | |
| | 1位 | 3位 | 4位 | |
| くろまぐる養殖 | 長崎 | 鹿児島 | | |
| | 1位 | 3位 | | |
| くるまえば養殖 | 熊本 | 鹿児島 | 長崎 | |
| | 1位 | 2位 | 5位 | |
| のり養殖 | 佐賀 | 福岡 | 熊本 | |
| | 1位 | 2位 | 4位 | |
| 真珠養殖 | 長崎 | 熊本 | 大分 | |
| | 3位 | 4位 | 5位 | |

I 漁業経営体

6 漁獲物・収獲物の販売金額別経営体の割合

◎ 平成30年の九州の漁業経営体の7割が500万円未満の販売金額

- 販売金額別経営体の割合をみると、販売金額500万円未満の経営体割合が九州では70%で、全国と比べると5ポイント高くなっている。各県では、佐賀が1,000～5,000万円の経営体の割合が高く、その他の県は500万円未満の経営体が5割以上となっている。〔図11、図12〕
- なお、各県の漁業産出額を経営体数で単純に除した1経営体当たりの漁業産出額は、宮崎が5,000万円以上の経営体の割合が高いこと等から3,540万円となっており、全国平均を大きく上回っている。〔参考1〕

図11 漁獲物・収獲物の販売金額別経営体の割合（全国及び九州）（平成30年）

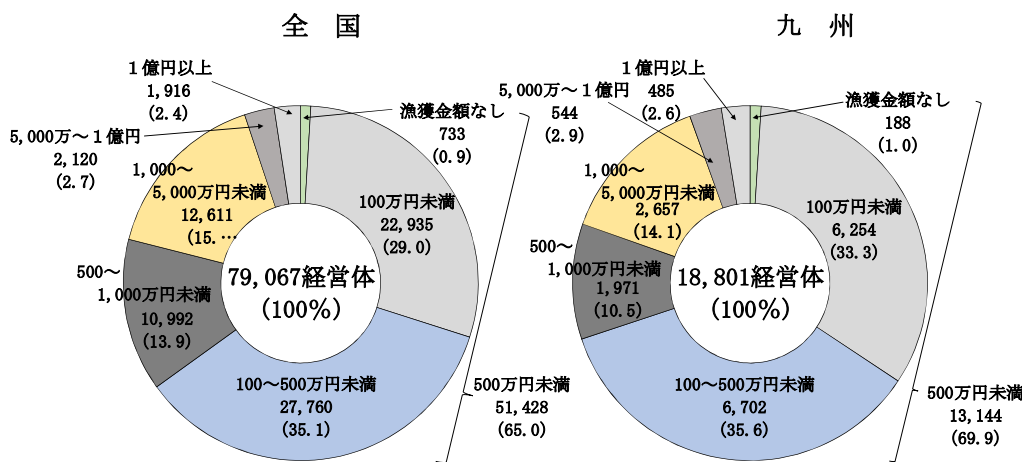
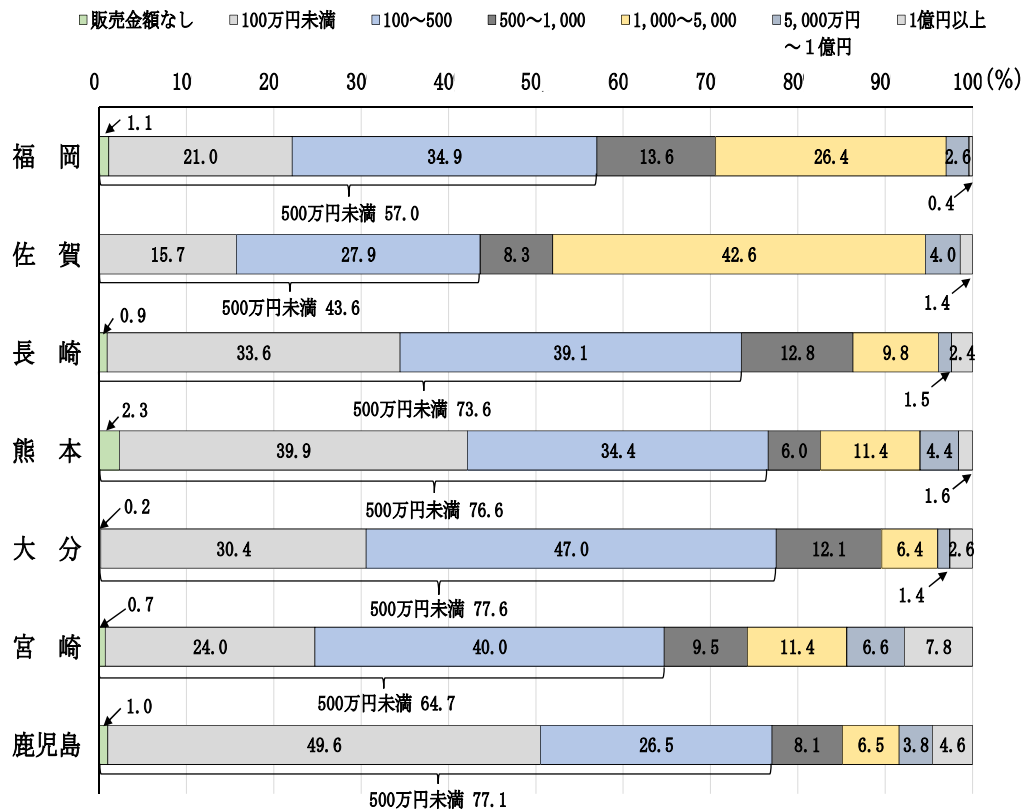
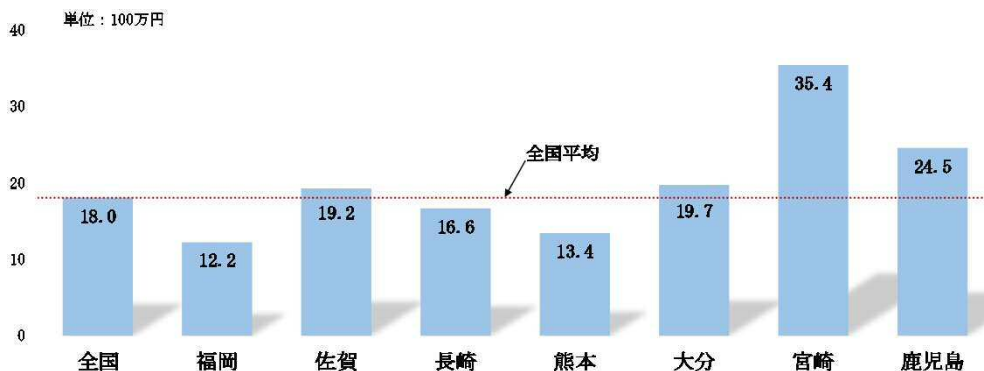


図12 漁獲物・収獲物の販売金額別経営体の割合（全国及び九州各県）（平成30年）



【参考1】 1経営体当たり漁業産出額（全国及び九州各県）（平成30年）



※ 1経営体当たり漁業産出額は、漁業産出額を漁業経営体数で単純に除したものです。

◆ 漁獲物・収獲物（海面）
 漁獲物とは（海面）漁業により採捕した水産動植物をいい、収獲物とは（海面）養殖業により収獲した水産動植物をいいます。

I 漁業経営体

7 販売金額1位の魚種別経営体数

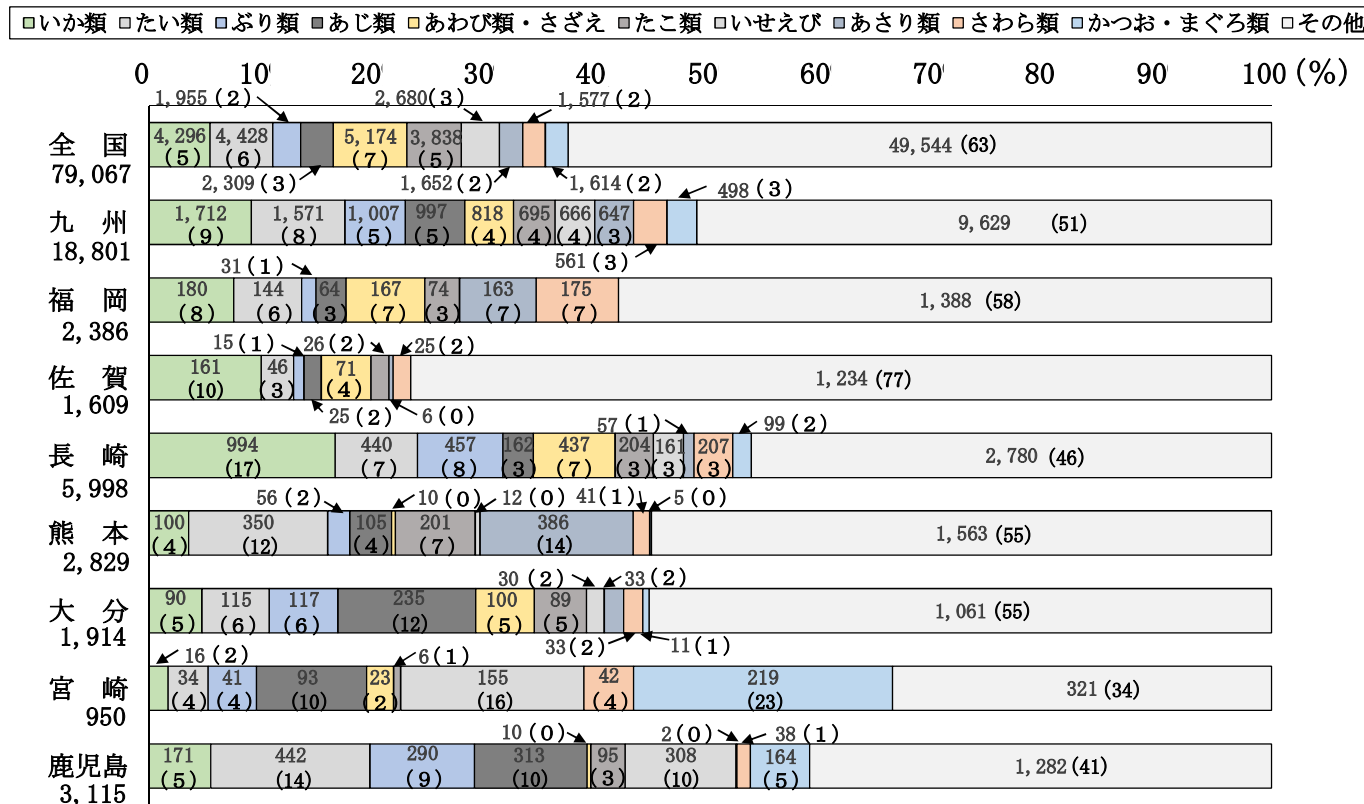
◎ 九州の漁業経営体でいか類が販売金額1位、たい類が2位となっている

■ 販売金額1位の魚種別経営体の割合は、九州ではいか類が9%で最も高く、次いでたい類、ぶり類の順となっている。
〔図13〕

■ 各県をみると、福岡、佐賀、長崎でいか類、熊本であさり類、大分であじ類、宮崎でかつお・まぐろ類、鹿児島でたい類が多くなっている。〔図13〕

全国順位では、多くの魚種で上位に入っているが、いか類、ぶり類、さわら類、いさき及びふぐ類で長崎、たい類及びさば類で鹿児島、その他の海藻類で佐賀が1位となっている。〔表6〕

図13 販売金額1位の魚種別経営体数及び割合（全国、九州及び九州各県）（平成30年）



◆かつお・まぐろ類はくろまぐろを除きます。
◆その他の海藻類とは、こんぶ類以外の海藻類（わかめ類、ひじき、てんぐさ類、ふのり類、あまのり類、とさかのり、おごのり、あらめ、かじめ等）をいいます。

表6 販売金額1位の魚種別経営体数全国上位県（平成30年）

| 魚種 | 区分 | 全国上位県 | | | | |
|----------|------|-------|-----|-------|-----|-------|
| | | 県名 | 順位 | 割合(%) | 順位 | 割合(%) |
| いか類 | 県名 | 長崎 | 福岡 | 鹿児島 | 佐賀 | |
| | 全国順位 | 1位 | 7位 | 8位 | 9位 | |
| たい類 | 県名 | 鹿児島 | 長崎 | 熊本 | 福岡 | |
| | 全国順位 | 1位 | 2位 | 5位 | 10位 | |
| ぶり類 | 県名 | 長崎 | 鹿児島 | 大分 | 熊本 | 宮崎 |
| | 全国順位 | 1位 | 2位 | 5位 | 8位 | 10位 |
| あじ類 | 県名 | 鹿児島 | 大分 | 長崎 | 熊本 | 宮崎 |
| | 全国順位 | 2位 | 3位 | 5位 | 7位 | 8位 |
| あさり類 | 県名 | 熊本 | 福岡 | 長崎 | 大分 | |
| | 全国順位 | 2位 | 4位 | 8位 | 10位 | |
| さわら類 | 県名 | 長崎 | 福岡 | | | |
| | 全国順位 | 1位 | 2位 | | | |
| かつお・まぐろ類 | 県名 | 宮崎 | 鹿児島 | 長崎 | | |
| | 全国順位 | 4位 | 5位 | 6位 | | |
| くろまぐろ | 県名 | 長崎 | 鹿児島 | | | |
| | 全国順位 | 2位 | 7位 | | | |
| さば類 | 県名 | 鹿児島 | 長崎 | | | |
| | 全国順位 | 1位 | 2位 | | | |
| たちうお | 県名 | 熊本 | 大分 | 長崎 | | |
| | 全国順位 | 3位 | 4位 | 6位 | | |
| いさき | 県名 | 長崎 | 大分 | 熊本 | | |
| | 全国順位 | 1位 | 2位 | 8位 | | |
| ふぐ類 | 県名 | 長崎 | 福岡 | 熊本 | 大分 | 宮崎 |
| | 全国順位 | 1位 | 3位 | 4位 | 7位 | 8位 |
| その他のえび類 | 県名 | 長崎 | 熊本 | 大分 | | |
| | 全国順位 | 2位 | 5位 | 10位 | | |
| その他の海藻類 | 県名 | 佐賀 | 福岡 | 熊本 | | |
| | 全国順位 | 1位 | 4位 | 7位 | | |

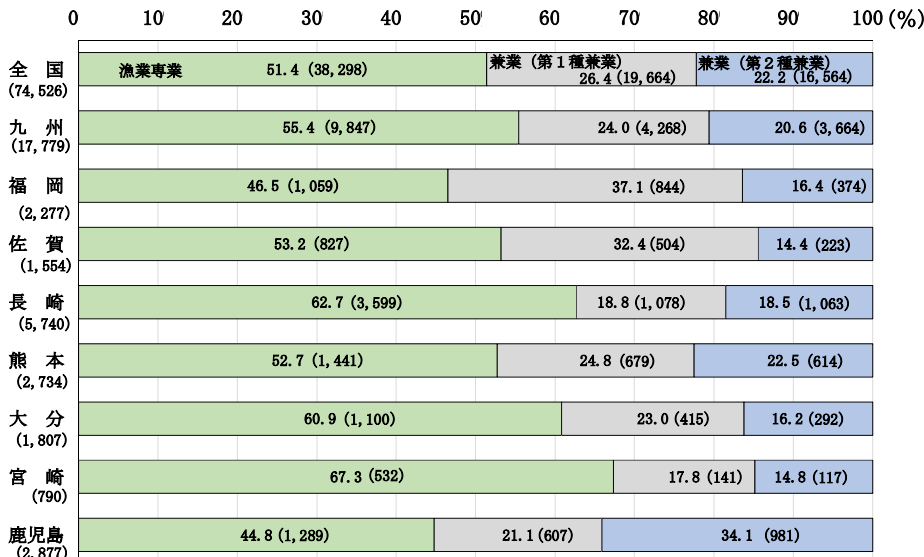
II 個人経営体

1 自家漁業の専兼業別経営体割合

◎ 九州の漁業専業経営体の割合は55%で、全国に比べ4ポイント高くなっている

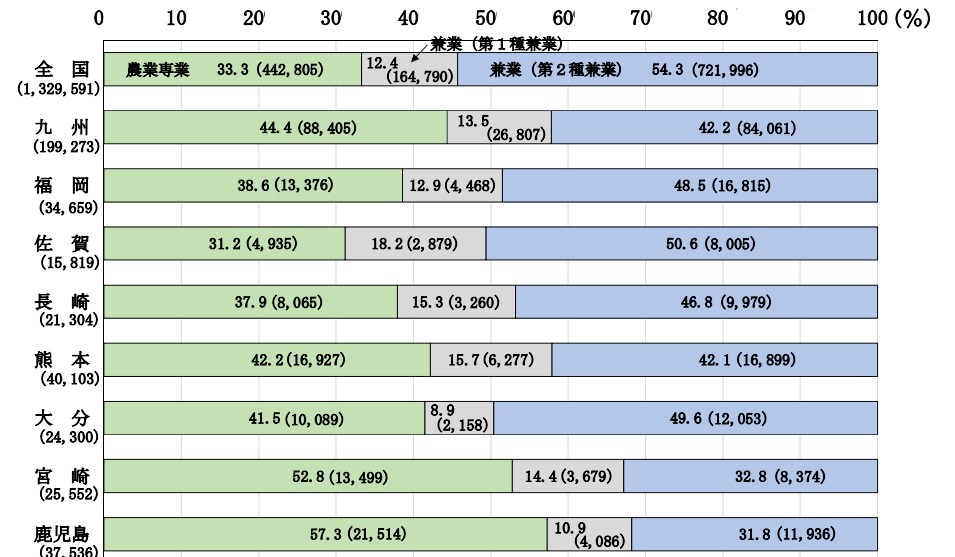
- 漁業専業の経営体の割合は、長崎、大分、宮崎で6割を超えており、全国と比較しても高い割合となっている。また、農業と比較しても専業割合は高くなっているが、鹿児島は農業の専業割合が高くなっている。〔図14、参考2〕
- 営んだ兼業種類別経営体数は農業との兼業が多く、佐賀、熊本、鹿児島で1割を上回っている。〔図15〕

図14 専兼業別漁業経営体の割合（全国・九州及び九州各県）（平成30年）



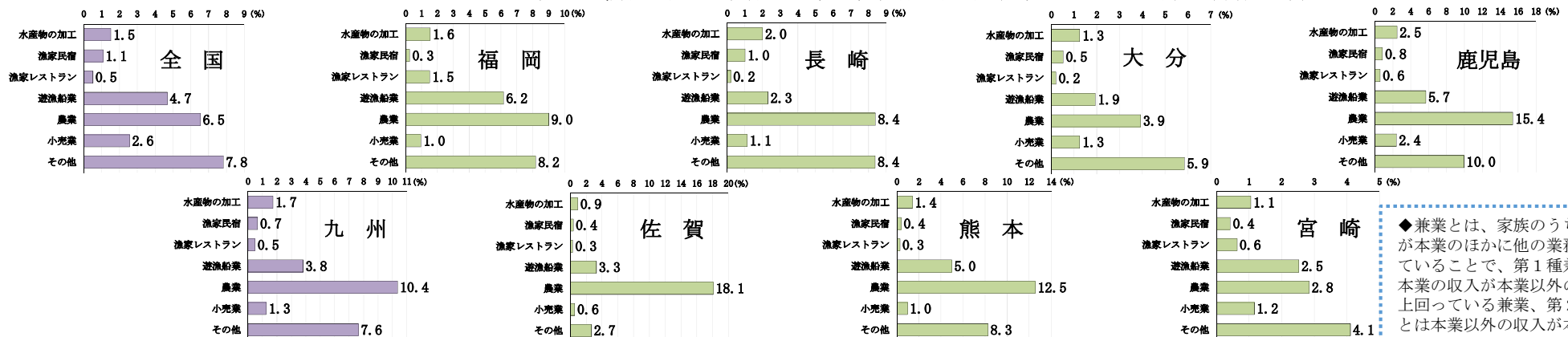
注：（ ）は経営体数です。

【参考2】専兼業別農家の割合（全国・九州及び九州各県）（平成27年）



資料：農林水産省統計部「農林業センサス」 注：（ ）は農家数です。

図15 営んだ兼業のうち自営業の種類別経営体の割合（全国及び九州各県）（平成30年）



◆兼業とは、家族のうちだれかが本業のほかにも他の業務を兼業していることで、第1種兼業とは、本業の収入が本業以外の収入を上回っている兼業、第2種兼業とは本業以外の収入が本業の収入を上回っている兼業です。

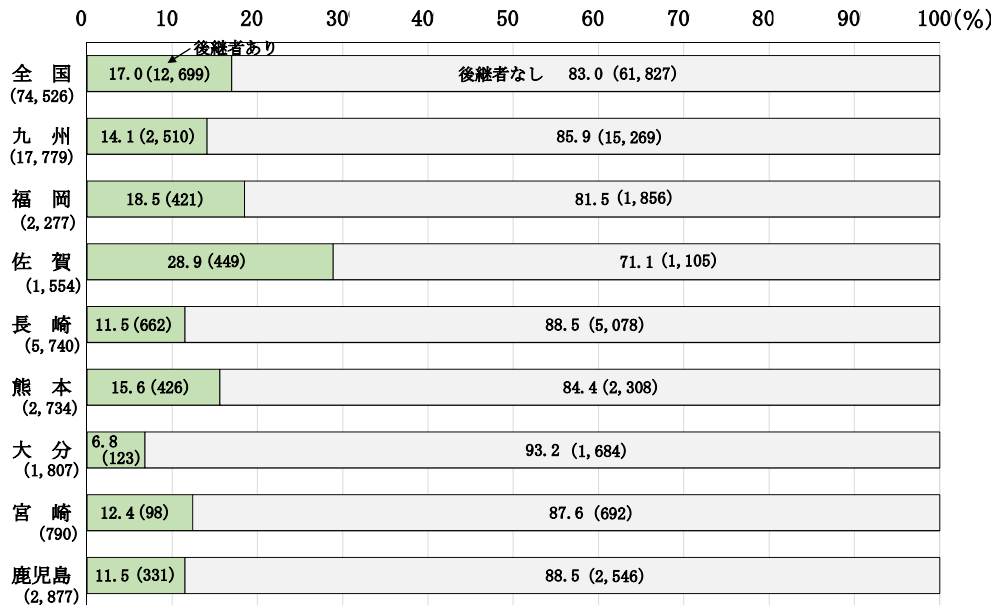
II 個人経営体

2 自家漁業の後継者の有無別経営体割合

◎ 九州の後継者がいる経営体の割合は14%

- 九州の後継者がいる経営体の割合は14%で、全国に比べ3ポイント低くなっており、農業の「後継者ありの販売農家」と比較してもかなり低い割合となっている。〔図16、参考3〕
- 県別にみると、佐賀では28.9%と高い割合になっているが、大分は6.8%と全国平均を大きく下回っている。〔図16〕

図16 自家漁業の後継者の有無別経営体割合（全国・九州及び九州各県）
（平成30年）



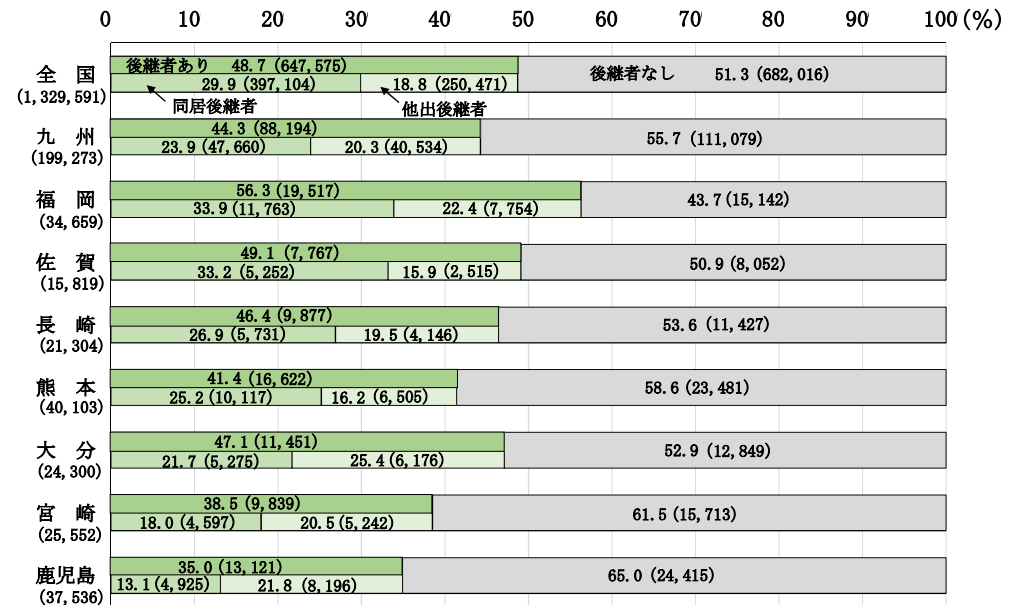
注：（ ）は経営体数です。

表7 自家漁業の後継者の有無別経営体数の推移（九州）

単位：経営体

| 区分 | 平成10年 | 15 | 20 | 25 | 30 | | |
|--------------|--------|--------|--------|--------|--------|----------|--------------|
| | | | | | 経営体数 | 前回からの増減数 | 前回からの増減率 (%) |
| 経営体数 | 34,935 | 30,577 | 25,973 | 21,983 | 17,779 | △4,204 | △ 19.1 |
| 後継者あり | 4,689 | 3,719 | 4,113 | 3,303 | 2,510 | △ 793 | △ 24.0 |
| 後継者なし | 30,246 | 26,858 | 21,860 | 18,680 | 15,269 | △3,411 | △ 18.3 |
| 後継者ありの割合 (%) | 13.4 | 12.2 | 15.8 | 15.0 | 14.1 | | |

【参考3】販売農家の後継者の有無別農家の割合（全国・九州及び九州各県）
（平成27年）



資料：農林水産省統計部「農林業センサス」 注：（ ）は販売農家数です。

表8 自家漁業の後継者がいる経営体数の推移（九州各県）

単位：経営体

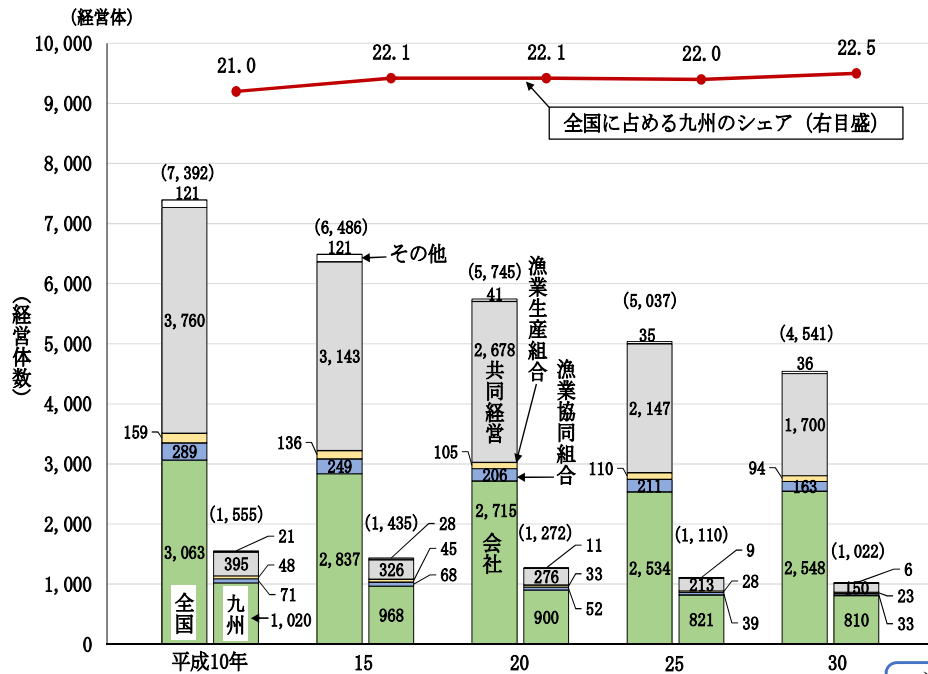
| 区分 | 平成25年 | | | 30 | | |
|-----|-------|-------|--------------|-------|-------|--------------|
| | 経営体数 | 後継者あり | 後継者ありの割合 (%) | 経営体数 | 後継者あり | 後継者ありの割合 (%) |
| 福岡 | 2,623 | 539 | 20.5 | 2,277 | 421 | 18.5 |
| 佐賀 | 1,790 | 509 | 28.4 | 1,554 | 449 | 28.9 |
| 長崎 | 7,421 | 1,143 | 15.4 | 5,740 | 662 | 11.5 |
| 熊本 | 3,359 | 436 | 13.0 | 2,734 | 426 | 15.6 |
| 大分 | 2,260 | 231 | 10.2 | 1,807 | 123 | 6.8 |
| 宮崎 | 985 | 148 | 15.0 | 790 | 98 | 12.4 |
| 鹿児島 | 3,545 | 297 | 8.4 | 2,877 | 331 | 11.5 |

Ⅲ 団体経営体 団体経営体数の推移

◎ 福岡県、佐賀県は共同経営の割合が高く、その他の県は会社が8割以上を占めている

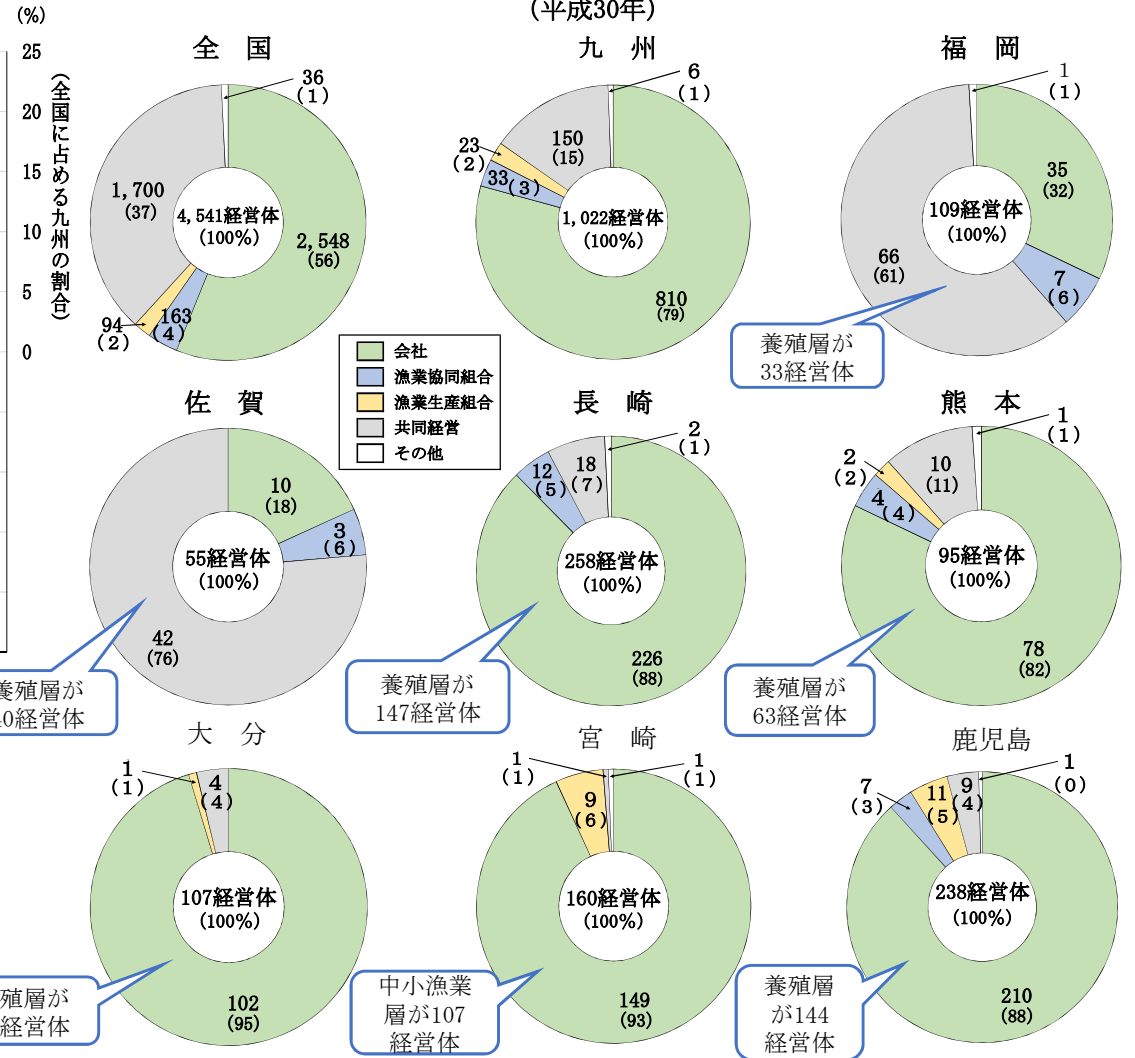
- 団体経営体は、個人経営体と同様に減少しているものの、全国に占める九州のシェアは上昇している。〔図17〕
- 全国と比較すると、九州は会社の割合が高く、共同経営の割合が低くなっている。〔図18〕
- 県別にみると、福岡と佐賀は共同経営の割合が高く、その他の県は会社が8割以上となっている。〔図18〕

図17 団体経営体数の推移（全国及び九州）



注：（ ）は団体経営体の合計数です。

図18 団体経営体の経営組織別経営体数及び割合（全国、九州及び九州各県）
（平成30年）



◆ 団体経営体

個人経営体以外の次の漁業経営体をいいます。

- (1) 会社（株式会社、合名会社、合資会社及び合同会社）
- (2) 漁業協同組合及び同連合会
- (3) 漁業生産組合
- (4) 共同経営
- (5) その他

都道府県の栽培漁業センターや水産増殖センター等

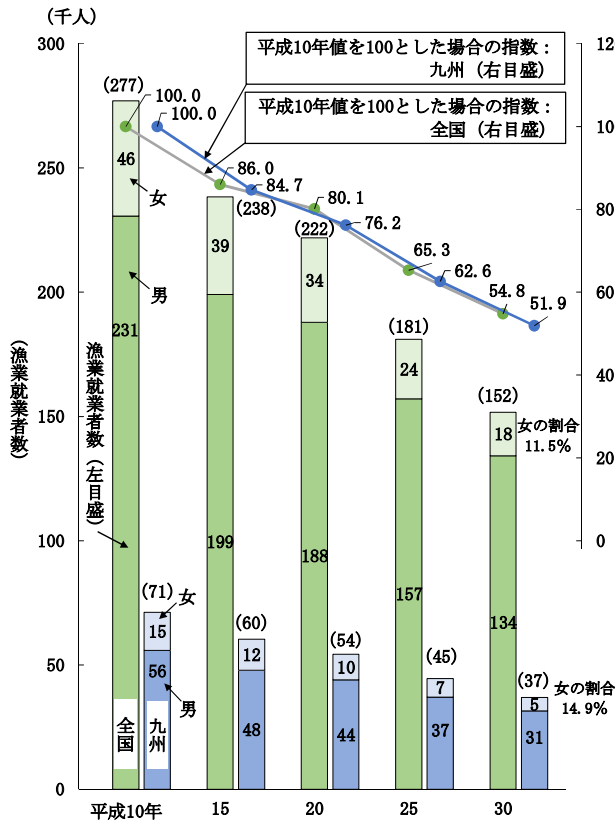
IV 漁業就業者

1 漁業就業者数の推移

◎ 九州の漁業就業者数は3万7千人

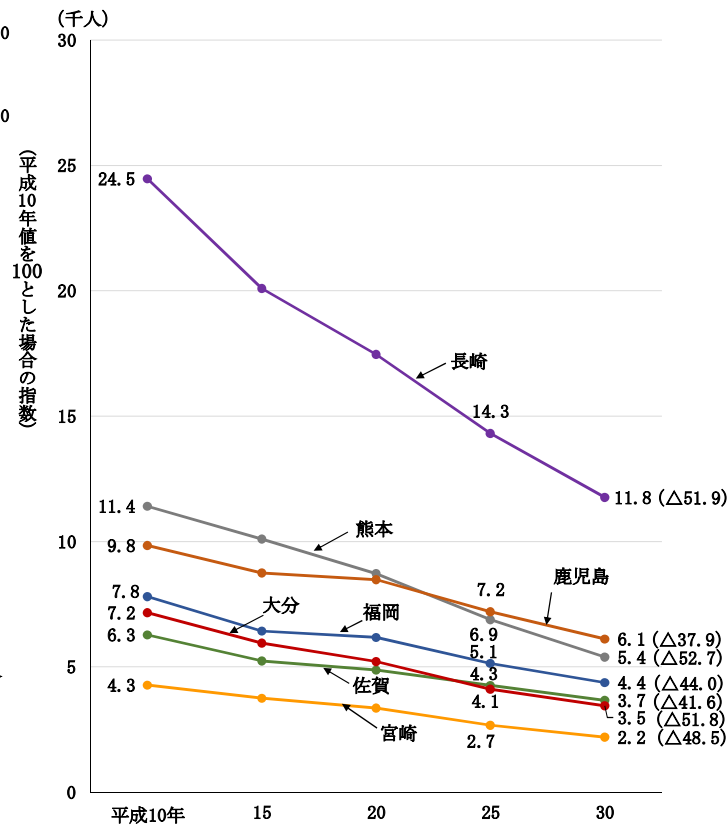
- 九州の漁業就業者は、全国と同様の傾向で減少が続いており、3万7千人となっている。また、女性の割合は全国に比べやや高く、14.9%となっている。〔図19〕
- 県別では、長崎、熊本、大分が5割を超える減少率となっている。〔図20〕
- 九州の新規漁業就業者は403人で、そのうち漁業雇われが298人で7割を占めている。なお、九州の全国に占める割合は21.6%で、農業の5%と比較すると高い割合となっている。〔表9、参考4〕

図19 海面漁業の漁業就業者数の推移（全国及び九州）



注：（ ）は男と女の合計数です。

図20 海面漁業の漁業就業者数の推移（九州各県）



注：（ ）は平成10年から30年の増減率です。

表9 新規漁業就業者数（全国・九州及び九州各県）
（平成30年）

| 区分 | 計 | 個人経営体の自家漁業のみ | 漁業雇われ |
|-----|-------|--------------|-------|
| 全国 | 1,862 | 469 | 1,393 |
| 九州 | 403 | 105 | 298 |
| 福岡 | 28 | 18 | 10 |
| 佐賀 | 28 | 12 | 16 |
| 長崎 | 152 | 25 | 127 |
| 熊本 | 52 | 21 | 31 |
| 大分 | 19 | 4 | 15 |
| 宮崎 | 27 | 1 | 26 |
| 鹿児島 | 97 | 24 | 73 |

【参考4】 新規就農者数
（全国・九州及び九州各県）
（平成30年）

| 区分 | 新規就農者数 |
|-----|--------|
| 全国 | 55,810 |
| 九州 | 2,888 |
| 福岡 | 386 |
| 佐賀 | 172 |
| 長崎 | 533 |
| 熊本 | 428 |
| 大分 | 248 |
| 宮崎 | 301 |
| 鹿児島 | 820 |

資料：九州農政局「見たい！
見たい！九州農業
2020」

注：九州各県及び九州計の新規就農者数は、各県がそれぞれ実施した独自調査結果を農政局で集計し、「見たい！見たい！九州農業2020」において公表したものです。

◆ 自家漁業のみとは、自家漁業のみに従事し、共同経営の漁業及び雇われての漁業には従事していないものをいいます。

漁業雇われとは、賃金報酬を得ることを目的に雇われて漁業に従事した者で、自家漁業を行いながら雇われて漁業に従事した者を含みます。

◆ 漁業就業者とは、満15歳以上で過去1年間に自営漁業又は漁業雇われの海上作業に年間30日以上従事した者をいいます。

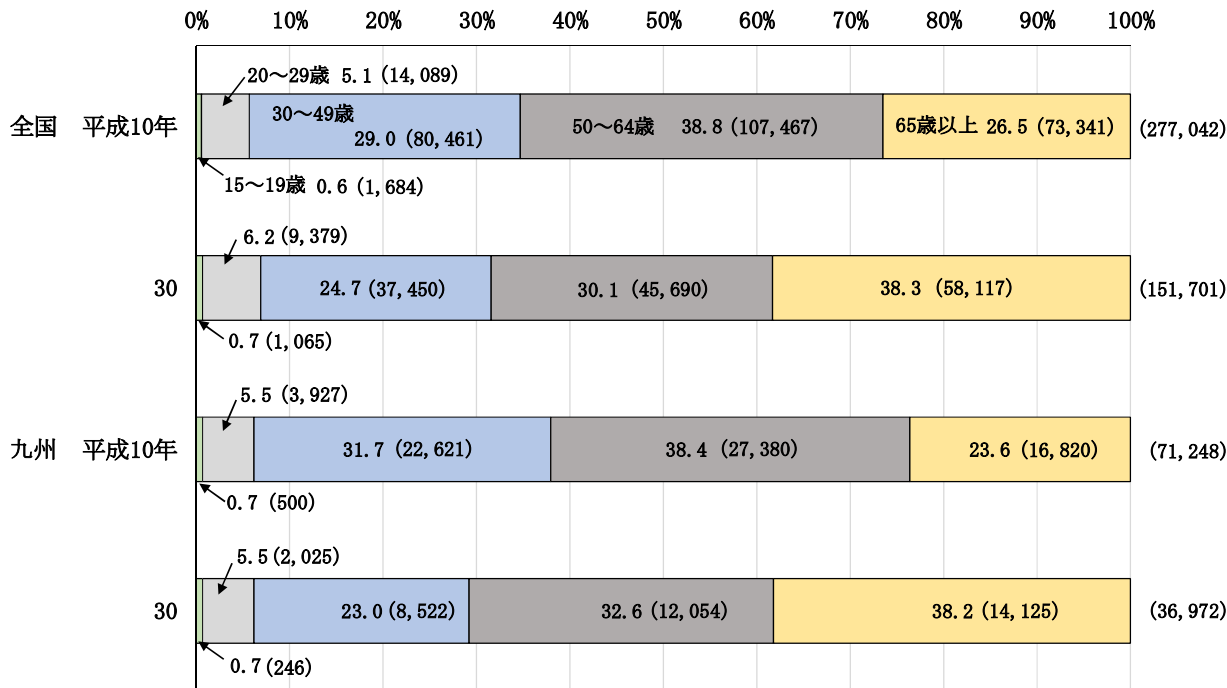
IV 漁業就業者

2 漁業就業者の年齢階層別割合の推移（全国及び九州）

◎ 九州の漁業就業者は65歳以上が約4割

- 九州の漁業就業者で65歳以上が占める割合は38.2%で、全国とほぼ同じ割合となっている。〔図21〕
- なお、65歳以上の割合が農業より低いのは、後継者なしの割合が農業に比べ高い（Ⅱの2（9ページ）参照）ことが要因の一つと考えられる。〔表10、表11〕

図21 漁業就業者の年齢階層別割合の推移（海面漁業 全国及び九州）



注：（ ）は漁業就業者数です。

表10 就業者数、農業就業人口及び漁業就業者数の比較（全国）

| 区分 | | 国勢調査 | 農林業センサス | 漁業センサス |
|--------|-------|--------------|-----------------|----------------|
| | | 就業者 平成27年 | 農業就業人口 平成27年 | 漁業就業者 平成30年 |
| 総数 | 人数(人) | 58,919,036 | 2,096,662 | 151,701 |
| | 割合(%) | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 15～19歳 | 人数(人) | 784,923 | 23,107 | 1,065 |
| | 割合(%) | 1.3 | 1.1 | 0.7 |
| 20～29歳 | 人数(人) | 8,100,116 | 40,607 | 9,379 |
| | 割合(%) | 13.7 | 1.9 | 6.2 |
| 30～49歳 | 人数(人) | 25,540,346 | 187,637 | 37,450 |
| | 割合(%) | 43.3 | 8.9 | 24.7 |
| 50～64歳 | 人数(人) | 16,968,072 | 514,636 | 45,690 |
| | 割合(%) | 28.8 | 24.5 | 30.1 |
| 65歳以上 | 人数(人) | 7,525,579 | 1,330,675 | 58,117 |
| | 割合(%) | 12.8 | 63.5 | 38.3 |

表11 就業者数、農業就業人口及び漁業就業者数の比較（九州）

| 区分 | | 国勢調査 | 農林業センサス | 漁業センサス |
|--------|-------|--------------|-----------------|----------------|
| | | 就業者 平成27年 | 農業就業人口 平成27年 | 漁業就業者 平成30年 |
| 総数 | 人数(人) | 5,961,975 | 327,624 | 36,972 |
| | 割合(%) | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 15～19歳 | 人数(人) | 72,906 | 3,098 | 246 |
| | 割合(%) | 1.2 | 0.9 | 0.7 |
| 20～29歳 | 人数(人) | 798,662 | 6,649 | 2,025 |
| | 割合(%) | 13.4 | 2.0 | 5.5 |
| 30～49歳 | 人数(人) | 2,479,762 | 33,974 | 8,522 |
| | 割合(%) | 41.6 | 10.4 | 23.0 |
| 50～64歳 | 人数(人) | 1,847,648 | 86,849 | 12,054 |
| | 割合(%) | 31.0 | 26.5 | 32.6 |
| 65歳以上 | 人数(人) | 762,997 | 197,054 | 14,125 |
| | 割合(%) | 12.8 | 60.1 | 38.2 |

資料：就業者

総務省統計局「平成27年国勢調査結果」

農業就業人口

農林水産省統計部「農林業センサス」

◆就業者（国勢調査）とは、「従業者」と「休業者」を合わせた者をいいます。
「従業者」とは、調査期間中に賃金、給料、諸手当、内職収入などの収入を伴う仕事（以下「仕事」という。）を1時間以上した者をいいます。
また、家族の人が自家営業（個人経営の農業や工場・店の仕事など）の手伝いをした場合は、無給であっても、収入を伴う仕事をしたこととして、就業者に含めます。

◆農業就業人口とは、15歳以上の農家世帯員のうち、調査期日前1年間に農業のみに従事した者又は農業と兼業の双方に従事したが、農業の従事日数の方が多い者をいいます。

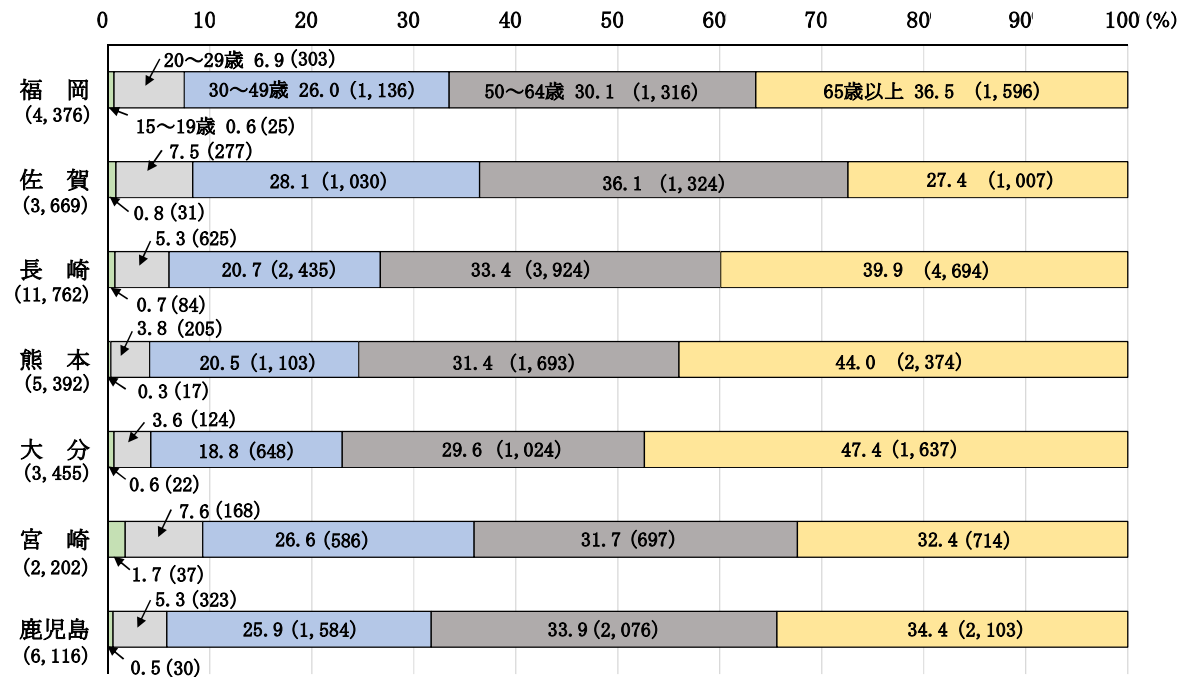
IV 漁業就業者

3 漁業就業者の年齢階層別割合（九州各県）

◎ 大分と熊本の漁業就業者は、65歳以上が約45%

- 県別の漁業就業者の65歳以上の割合は、熊本、大分で4割を超え、高い割合となっている。〔図22〕
- 一方で、50歳未満の割合は、福岡、佐賀、宮崎及び鹿児島で3割を上回っており、各県とも農業就業人口の50歳未満と比較して高い割合となっている。〔表11、表12〕

図22 漁業就業者の年齢階層別割合（海面漁業 九州各県）（平成30年）



注：（ ）は漁業就業者数です。

表11 就業者数、農業就業人口及び漁業就業者数の比較（九州各県）

| 区分 | 福岡 | | | 佐賀 | | | |
|--------|----------------|--------------------|-----------------|----------------|------------------|-----------------|----------------|
| | 国勢調査 | 農林業センサス | 漁業センサス | 国勢調査 | 農林業センサス | 漁業センサス | |
| | 就業者 平成27年 | 農業就業人口 平成27年 | 漁業就業者 平成30年 | 就業者 平成27年 | 農業就業人口 平成27年 | 漁業就業者 平成30年 | |
| 総数 | 人数(人) 割合(%) | 2,254,095 100.0 | 56,950 100.0 | 4,376 100.0 | 410,237 100.0 | 26,244 100.0 | 3,669 100.0 |
| 15～19歳 | 人数(人) 割合(%) | 30,813 1.4 | 865 1.5 | 25 0.6 | 5,276 1.3 | 193 0.7 | 31 0.8 |
| 20～29歳 | 人数(人) 割合(%) | 319,748 14.2 | 1,345 2.4 | 303 6.9 | 55,732 13.6 | 494 1.9 | 277 7.5 |
| 30～49歳 | 人数(人) 割合(%) | 984,684 43.7 | 5,898 10.4 | 1,136 26.0 | 165,963 40.5 | 2,916 11.1 | 1,030 28.1 |
| 50～64歳 | 人数(人) 割合(%) | 655,274 29.1 | 14,531 25.5 | 1,316 30.1 | 128,415 31.3 | 7,521 28.7 | 1,324 36.1 |
| 65歳以上 | 人数(人) 割合(%) | 263,576 11.7 | 34,311 60.2 | 1,596 36.5 | 54,851 13.4 | 15,120 57.6 | 1,007 27.4 |

| 区分 | 長崎 | | | 熊本 | | | |
|--------|----------------|------------------|-----------------|-----------------|------------------|-----------------|----------------|
| | 国勢調査 | 農林業センサス | 漁業センサス | 国勢調査 | 農林業センサス | 漁業センサス | |
| | 就業者 平成27年 | 農業就業人口 平成27年 | 漁業就業者 平成30年 | 就業者 平成27年 | 農業就業人口 平成27年 | 漁業就業者 平成30年 | |
| 総数 | 人数(人) 割合(%) | 644,154 100.0 | 34,440 100.0 | 11,762 100.0 | 834,257 100.0 | 71,900 100.0 | 5,392 100.0 |
| 15～19歳 | 人数(人) 割合(%) | 7,335 1.1 | 230 0.7 | 84 0.7 | 9,564 1.1 | 592 0.8 | 17 0.3 |
| 20～29歳 | 人数(人) 割合(%) | 83,961 13.0 | 796 2.3 | 625 5.3 | 109,123 13.1 | 1,804 2.5 | 205 3.8 |
| 30～49歳 | 人数(人) 割合(%) | 259,927 40.4 | 3,878 11.3 | 2,435 20.7 | 338,726 40.6 | 8,819 12.3 | 1,103 20.5 |
| 50～64歳 | 人数(人) 割合(%) | 210,275 32.6 | 9,647 28.0 | 3,924 33.4 | 264,626 31.7 | 19,878 27.6 | 1,693 31.4 |
| 65歳以上 | 人数(人) 割合(%) | 82,656 12.8 | 19,889 57.7 | 4,694 39.9 | 112,218 13.5 | 40,807 56.8 | 2,374 44.0 |

表12 50歳未満の農業就業人口と漁業就業者数の比較（九州各県）

| 区分 | 福岡 | 佐賀 | 長崎 | 熊本 | 大分 | 宮崎 | 鹿児島 | |
|-------------------|----------------|---------------|---------------|---------------|----------------|--------------|---------------|---------------|
| 農業就業人口 (平成27年) | 人数(人) 割合(%) | 8,108 14.2 | 3,603 13.7 | 4,904 14.2 | 11,215 15.6 | 2,745 7.8 | 6,201 13.8 | 6,945 12.0 |
| 漁業就業者 (平成30年) | 人数(人) 割合(%) | 1,464 33.5 | 1,338 36.5 | 3,144 26.7 | 1,325 24.6 | 794 23.0 | 791 35.9 | 1,937 31.7 |

資料：就業者
総務省統計局「平成27年国勢調査結果」
農業就業人口
農林水産省統計部「農林業センサス」

| 区分 | 大分 | | | 宮崎 | | | 鹿児島 | | | |
|--------|----------------|------------------|-----------------|----------------|------------------|-----------------|----------------|------------------|-----------------|----------------|
| | 国勢調査 | 農林業センサス | 漁業センサス | 国勢調査 | 農林業センサス | 漁業センサス | 国勢調査 | 農林業センサス | 漁業センサス | |
| | 就業者 平成27年 | 農業就業人口 平成27年 | 漁業就業者 平成30年 | 就業者 平成27年 | 農業就業人口 平成27年 | 漁業就業者 平成30年 | 就業者 平成27年 | 農業就業人口 平成27年 | 漁業就業者 平成30年 | |
| 総数 | 人数(人) 割合(%) | 546,167 100.0 | 35,208 100.0 | 3,455 100.0 | 519,210 100.0 | 45,001 100.0 | 2,202 100.0 | 753,855 100.0 | 57,881 100.0 | 6,116 100.0 |
| 15～19歳 | 人数(人) 割合(%) | 6,183 1.1 | 340 1.0 | 22 0.6 | 5,665 1.1 | 291 0.6 | 37 1.7 | 8,070 1.1 | 587 1.0 | 30 0.5 |
| 20～29歳 | 人数(人) 割合(%) | 72,097 13.2 | 408 1.2 | 124 3.6 | 63,640 12.3 | 910 2.0 | 168 7.6 | 94,361 12.5 | 892 1.5 | 323 5.3 |
| 30～49歳 | 人数(人) 割合(%) | 224,114 41.0 | 1,997 5.7 | 648 18.8 | 208,906 40.2 | 5,000 11.1 | 586 26.6 | 297,442 39.5 | 5,466 9.4 | 1,584 25.9 |
| 50～64歳 | 人数(人) 割合(%) | 167,992 30.8 | 7,517 21.4 | 1,024 29.6 | 168,481 32.4 | 12,566 27.9 | 697 31.7 | 252,585 33.5 | 15,189 26.2 | 2,076 33.9 |
| 65歳以上 | 人数(人) 割合(%) | 75,781 13.9 | 24,946 70.9 | 1,637 47.4 | 72,518 14.0 | 26,234 58.3 | 714 32.4 | 101,397 13.5 | 35,747 61.8 | 2,103 34.4 |

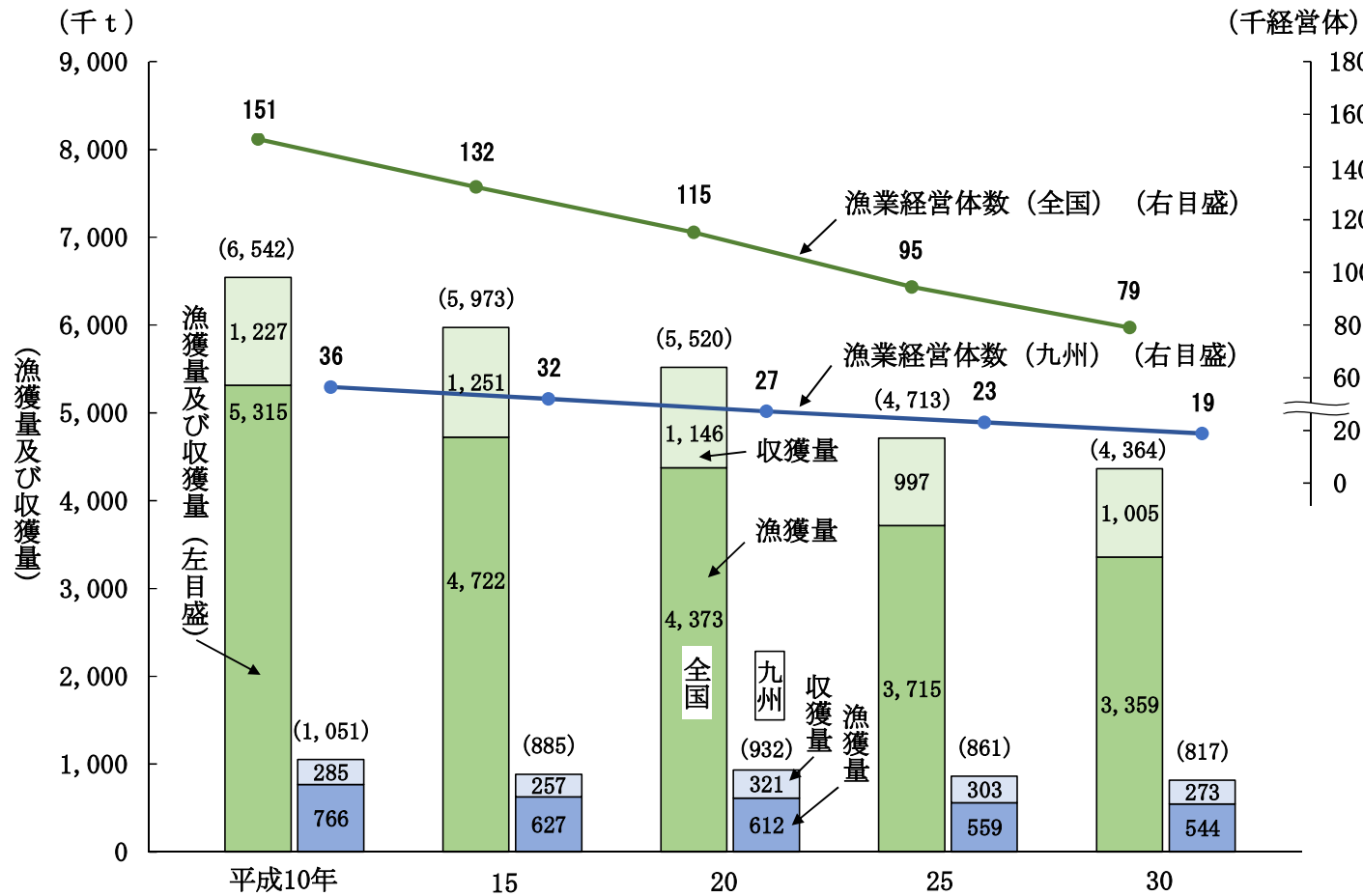
【参考】海面漁業・養殖業生産量

1 海面漁業・養殖業生産量の推移（全国及び九州）

◎ 九州の海面漁業・養殖業生産量は817千 t

- 九州の漁業経営体の全国に占めるシェアは24%（Iの1（1ページ）参照）であるが、平成30年の九州の海面漁業・養殖業生産量の全国に占めるシェアは19%となっている。〔参考6、7〕
- 養殖業では、経営体の全国に占める割合は21%であるが、収穫量は27%となっている。〔参考6、7〕

【参考5】 海面漁業・養殖業生産量と漁業経営体の推移（全国及び九州）



資料：漁獲量及び収穫量
農林水産省統計部「漁業・養殖業生産統計」
漁業経営体数
農林水産省統計部「漁業センサス」

注：（ ）は漁獲量と収穫量の合計値です。

【参考6】 主な魚種別生産量
（海面漁業・養殖業 全国及び九州）
（平成30年）

| 区分 | 全国 t | 九州 t | シェア % |
|-------------|-----------|---------|-------|
| 海面漁業・養殖業生産量 | 4,364,327 | 817,496 | 18.7 |
| 海面漁業（漁獲量） | 3,359,456 | 544,424 | 16.2 |
| 魚類 | 2,738,782 | 510,488 | 18.6 |
| まぐろ類 | 165,185 | 35,393 | 21.4 |
| かつお類 | 259,833 | 31,000 | 11.9 |
| いわし類 | 738,925 | 116,297 | 15.7 |
| あじ類 | 135,142 | 69,520 | 51.4 |
| さば類 | 541,975 | 162,143 | 29.9 |
| ぶり類 | 99,933 | 21,646 | 21.7 |
| 貝類 | 350,385 | 6,880 | 2.0 |
| いか類 | 83,591 | 10,041 | 12.0 |
| 海面養殖業（収穫量） | 1,004,871 | 273,072 | 27.2 |

資料：農林水産省統計部「漁業・養殖業生産統計」

【参考7】 主な漁業種類別生産量
（海面漁業・養殖業 全国及び九州）
（平成30年）

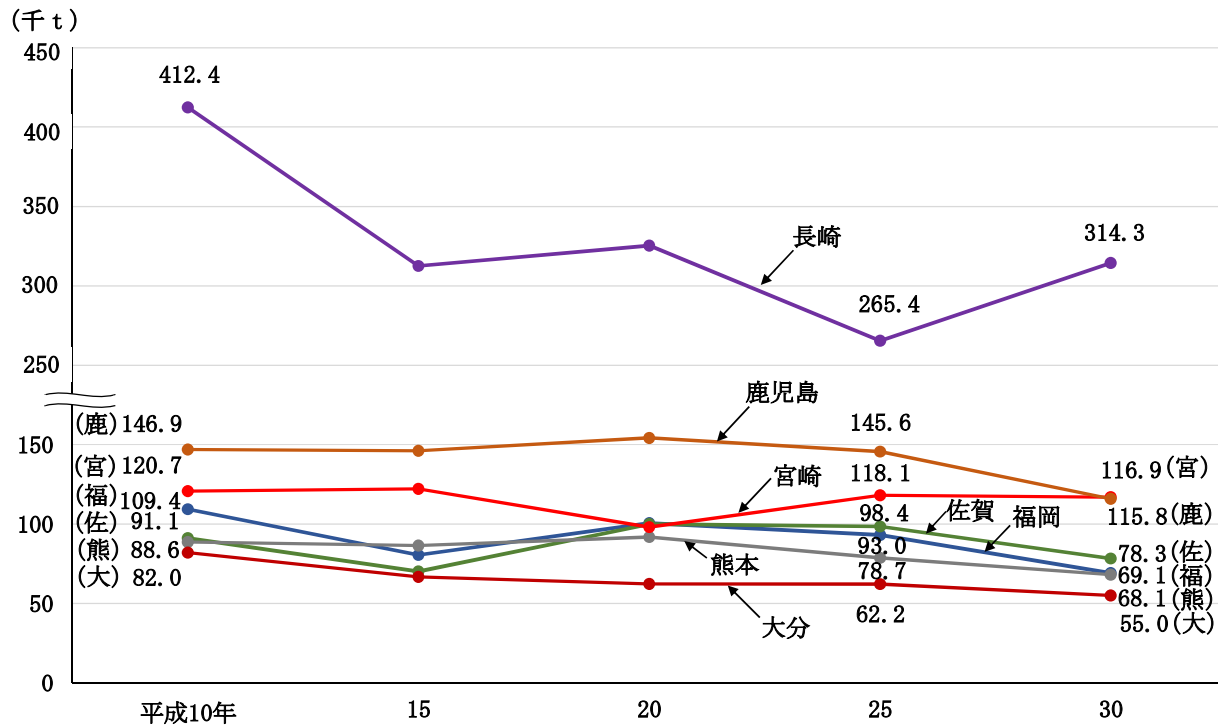
| 区分 | 全国 t | 九州 t | シェア % |
|-------------|-----------|---------|-------|
| 海面漁業・養殖業生産量 | 4,364,327 | 817,496 | 18.7 |
| 海面漁業（漁獲量） | 3,359,456 | 544,424 | 16.2 |
| 底びき網 | x | x | x |
| 船びき網 | 170,902 | 20,810 | 12.2 |
| まき網 | 1,377,827 | x | x |
| 刺網 | 128,524 | 12,559 | 9.8 |
| 定置網 | 401,794 | 28,610 | 7.1 |
| その他の網漁業 | 47,512 | x | x |
| はえ縄 | 138,996 | x | x |
| 釣 | x | x | x |
| 採貝・採藻 | 104,728 | 11,145 | 10.6 |
| その他の漁業 | 65,755 | 6,861 | 10.4 |
| 海面養殖業（収穫量） | 1,004,871 | 273,072 | 27.2 |

資料：農林水産省統計部「漁業・養殖業生産統計」
注：「x」は個人又は法人その他の団体に関する
秘密を保持するため、統計数値を公表しない
ものです。

【参考】海面漁業・養殖業生産量

2 海面漁業・養殖業生産量の推移（九州各県）

【参考8】 海面漁業・養殖業生産量の推移（九州各県）



資料：農林水産省統計部「漁業・養殖業生産統計」

【参考9】 海面漁業・養殖業生産量（九州各県）
（平成10年及び30年）

| 区 分 | 平成10年 | 30 | | | |
|-----|-------|-------|-----------|-----------|-----------|
| | 生産量 | 生産量 | 九州におけるシェア | 10年からの増減量 | 10年からの増減率 |
| | 千 t | 千 t | % | 千 t | % |
| 福岡 | 109.4 | 69.1 | 8.5 | △ 40.3 | △ 36.8 |
| 漁業 | 59.5 | 29.2 | 5.4 | △ 30.3 | △ 51.0 |
| 養殖業 | 49.8 | 39.9 | 14.6 | △ 9.9 | △ 19.9 |
| 佐賀 | 91.1 | 78.3 | 9.6 | △ 12.8 | △ 14.1 |
| 漁業 | 24.8 | 8.4 | 1.5 | △ 16.4 | △ 66.1 |
| 養殖業 | 66.3 | 69.8 | 25.6 | △ 3.5 | 5.3 |
| 長崎 | 412.4 | 314.3 | 38.5 | △ 98.1 | △ 23.8 |
| 漁業 | 382.6 | 290.6 | 53.4 | △ 92.1 | △ 24.1 |
| 養殖業 | 29.8 | 23.8 | 8.7 | △ 6.0 | △ 20.2 |
| 熊本 | 88.6 | 68.1 | 8.3 | △ 20.5 | △ 23.1 |
| 漁業 | 28.8 | 17.8 | 3.3 | △ 10.9 | △ 38.0 |
| 養殖業 | 59.8 | 50.3 | 18.4 | △ 9.6 | △ 16.0 |
| 大分 | 82.0 | 55.0 | 6.7 | △ 27.0 | △ 32.9 |
| 漁業 | 63.0 | 31.6 | 5.8 | △ 31.4 | △ 49.9 |
| 養殖業 | 19.0 | 23.4 | 8.6 | △ 4.4 | 23.3 |
| 宮崎 | 120.7 | 116.9 | 14.3 | △ 3.8 | △ 3.2 |
| 漁業 | 109.4 | 103.3 | 19.0 | △ 6.1 | △ 5.6 |
| 養殖業 | 11.4 | 13.6 | 5.0 | △ 2.3 | 19.9 |
| 鹿児島 | 146.9 | 115.8 | 14.2 | △ 31.1 | △ 21.2 |
| 漁業 | 97.9 | 63.6 | 11.7 | △ 34.4 | △ 35.1 |
| 養殖業 | 49.0 | 52.3 | 19.1 | △ 3.2 | 6.6 |

資料：漁業・養殖業生産統計

【参考10】 海面漁業・養殖業産出額（九州各県）（平成20・25及び30年）

単位：100万円

| 区 分 | 福岡 | | | 佐賀 | | | 長崎 | | | 熊本 | | | 大分 | | | 宮崎 | | | 鹿児島 | | | |
|-------|-----------|--------|--------|--------|--------|-------|--------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|--------|--------|--------|
| | 計 | 漁業 | 養殖業 | 計 | 漁業 | 養殖業 | 計 | 漁業 | 養殖業 | 計 | 漁業 | 養殖業 | 計 | 漁業 | 養殖業 | 計 | 漁業 | 養殖業 | 計 | 漁業 | 養殖業 | |
| 平成20年 | 産出額 | 34,375 | 18,977 | 15,398 | 27,858 | 4,271 | 23,587 | 101,726 | 77,888 | 23,838 | 36,285 | 10,488 | 25,797 | 35,208 | 19,589 | 15,619 | 37,877 | 28,443 | 9,434 | 81,010 | 30,068 | 50,942 |
| | 全国シェア (%) | 2.3 | 1.7 | 3.9 | 1.8 | 0.4 | 5.9 | 6.7 | 6.9 | 6.0 | 2.4 | 0.9 | 6.5 | 2.3 | 1.7 | 3.9 | 2.5 | 2.5 | 2.4 | 5.3 | 2.7 | 12.7 |
| 25 | 産出額 | 29,342 | 15,938 | 13,404 | 26,564 | 4,630 | 21,934 | 91,484 | 64,199 | 27,285 | 31,873 | 7,559 | 24,314 | 36,872 | 14,090 | 22,782 | 34,240 | 25,791 | 8,450 | 75,123 | 25,542 | 49,580 |
| | 全国シェア (%) | 2.2 | 1.7 | 3.5 | 2.0 | 0.5 | 5.7 | 6.9 | 6.8 | 7.0 | 2.4 | 0.8 | 6.3 | 2.8 | 1.5 | 5.9 | 2.6 | 2.7 | 2.2 | 5.6 | 2.7 | 12.8 |
| 30 | 産出額 | 29,122 | 13,066 | 16,056 | 30,926 | 5,103 | 25,823 | 99,627 | 63,620 | 36,007 | 37,912 | 6,254 | 31,658 | 37,661 | 12,732 | 24,929 | 33,589 | 24,152 | 9,437 | 76,310 | 22,767 | 53,543 |
| | 全国シェア (%) | 2.0 | 1.4 | 3.3 | 2.2 | 0.5 | 5.3 | 7.0 | 6.8 | 7.4 | 2.7 | 0.7 | 6.5 | 2.6 | 1.4 | 5.1 | 2.4 | 2.6 | 1.9 | 5.4 | 2.4 | 11.0 |

資料：農林水産省統計部「漁業産出額」